

[人と自然との豊かな触れ合いの確保及び地域の歴史的文化的な特性を生かした快適な環境の創造]

8.12 景観

8.12.1 調査

(1) 調査方法

ア 調査項目

景観の調査項目を、表 8.12.1 に示す。

表 8.12.1 景観の調査項目

調査項目	文献その他の資料調査	現地調査
景観資源の状況	○	—
主要な眺望点の状況	○	○
主要な眺望景観の状況	—	○

イ 調査地域

調査地域は、事業実施区域の周辺とした。

ウ 調査方法

(ア) 景観資源の状況

a 文献その他の資料調査

知多市における景観資源の情報を収集、整理した。

(イ) 主要な眺望点の状況、主要な眺望景観の状況

a 文献その他の資料調査

知多市における眺望点等の情報を収集、整理した。

b 現地調査

(a) 調査期間

景観の現地調査期間を、表 8.12.2 に示す。

表 8.12.2 景観の現地調査期間

調査項目	調査期間	
主要な眺望点の状況 主要な眺望景観の状況	春季	平成 29 年（2017 年）4 月 13 日（木）
	夏季	平成 29 年（2017 年）8 月 9 日（水）
	秋季	平成 29 年（2017 年）10 月 27 日（金）
	冬季	平成 30 年（2018 年）2 月 14 日（水）

(b) 調査地点

景観の調査地点は、図 8.12.1 に示す既存施設が視認可能な範囲を参考に、表 8.12.3 の 2 地点とした。なお、既存施設が視認可能な範囲は、既存施設・新施設の位置、大きさと地形データにより解析して示したが、建物、高木等を考慮していない。

表 8.12.3 景観の調査地点

	主要な眺望点	身近な眺望点
地点 7 知多運動公園	○	—
地点 8 寺本跨線橋	—	○

調査地点については、「3.2.9 景観、人と自然との触れ合いの活動の場の状況」における「(2) 眺望点の状況」(3.2-77 ページ)の主要な眺望点を参考とした。主要な眺望点の「知多運動公園」に加え、住居地域で人が集まり、視界が広く取れる身近な眺望点として「寺本跨線橋」を選定した。

なお、参考とした主要な眺望点のうち「知多運動公園」以外は、眺望点と事業実施区域との間にある建物や樹木、地形等の影響で事業実施区域方向の視界が遮られて既存施設が視認できないことから選定しなかった。

(c) 調査方法

写真撮影によりその概況を把握した。写真撮影時の画角を一定にするため、どの地点においても焦点距離は 35mm 判換算 50mm とした。



図 8.12.1 景観の調査地点

(2) 調査結果

ア 景観資源の状況

(ア) 文献その他の資料調査

文献その他の資料調査による景観資源の状況は、「3.2.9 景観、人と自然との触れ合いの活動の場の状況」における「(1) 景観の状況」（3.2-75 及び 3.2-76 ページ）に示したとおりである。

イ 主要な眺望点の状況、主要な眺望景観の状況

(イ) 文献その他の資料調査

文献その他の資料調査による主要な眺望点の状況は、「3.2.9 景観、人と自然との触れ合いの活動の場の状況」における「(2) 眺望点の状況」（3.2-77 ページ）に示したとおりである。

(イ) 現地調査

調査地点とした眺望点の状況は、次のとおりである。

「知多運動公園」は、公園内の施設のテニスコートの西側にある橋で、事業実施区域内の既存施設の煙突と建屋の一部が眺望できる。

「寺本跨線橋」は、名古屋鉄道常滑線寺本駅前の跨線橋で、事業実施区域内の既存施設の煙突が眺望できる。

調査地点からの事業実施区域方向の眺望景観の状況を、図 8.12.2～図 8.12.3 に示す。

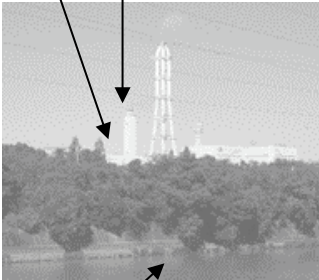
	春 季	視点の概要
	平成 29 年 (2017 年) 4 月 13 日	煙突との距離：約 500m 煙突方向：北北西
	夏 季	景観の特性
	平成 29 年 (2017 年) 8 月 9 日	知多運動公園の西端の橋から海域を隔てて煙突と建屋の一部を含む事業実施区域が眺望できる。 調査地点では、事業実施区域と海域の間にある木々の彩りが季節の変化を感じさせる。
	秋 季	事業実施区域内の既存施設 建屋 煙突  海域
	平成 29 年 (2017 年) 10 月 27 日	
	冬 季	
	平成 30 年 (2018 年) 2 月 14 日	

図 8.12.2 眺望景観の状況（知多運動公園）

8 環境影響の調査、予測及び評価

8.12 景観（調査）

	春 季 平成 29 年 (2017 年) 4 月 13 日	視点の概要 煙突との距離：約 1,100m 煙突方向：西北西
	夏 季 平成 29 年 (2017 年) 8 月 9 日	景観の特性 名古屋鉄道常滑線寺本駅前の跨線橋から事業実施区域内の既存施設の煙突が眺望できる。 調査地点では、彩りでの季節の変化は確認しづらいが、背の高い煙突の白煙の量で気温の違いは把握できる。
	秋 季 平成 29 年 (2017 年) 10 月 27 日	事業実施区域内の既存施設 煙突 
	冬 季 平成 30 年 (2018 年) 2 月 14 日	

図 8.12.3 眺望景観の状況（寺本跨線橋）

8.12.2 予測及び評価

(1) 予測及び評価方法

ア 施設の存在

(ア) 予測事項

施設の存在に伴う景観の予測事項を、表 8.12.4 に示す。

表 8.12.4 景観の予測事項（施設の存在）

予測の対象となる要因	予測項目
施設の存在	地域の日常生活からの眺望

(イ) 予測地域

a 景観資源への影響

予測地域は、事業実施区域及びその周辺とした。予測地点は、文献その他資料調査により抽出された事業実施区域周辺の景観資源とした。

b 主要な眺望点からの眺望景観

予測地域は、現地調査地域と同じとし、予測地点は、現地調査を実施した2地点とした。

景観予測地点を、図 8.12.1 に示す。

(ウ) 予測対象時期

予測対象時期は、新施設の建設が完了する時期とした。

(エ) 予測方法

a 景観資源への影響

景観資源の位置と新施設の距離から定性的に予測した。

b 主要な眺望点からの眺望景観

新施設の存在による眺望景観の変化をフォトモンタージュにより予測した。

フォトモンタージュを作成する時期は、太陽高度が平均的で明るさが適度な状況となる春季と秋季とした。

(オ) 評価方法

a 環境影響の回避・低減に係る評価

環境影響が、事業者により実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減されているか否かについて評価した。

8 環境影響の調査、予測及び評価

8.12 景観（予測及び評価結果）

(2) 予測及び評価結果

ア 施設の存在

(ア) 予測結果

a 景観資源への影響

事業実施区域周辺の景観資源については、道路や公園等、いずれも周辺地域とともに遠景として眺めるような景観資源ではないこと、調査地点以外の眺望点のうち最も近い元浜公園でも事業実施区域から2 km 程度と距離があることから、影響はないと考えられる。

b 主要な眺望点からの眺望景観

予測地点からの眺望景観予測結果を、図 8.12.4～図 8.12.5 に示す。

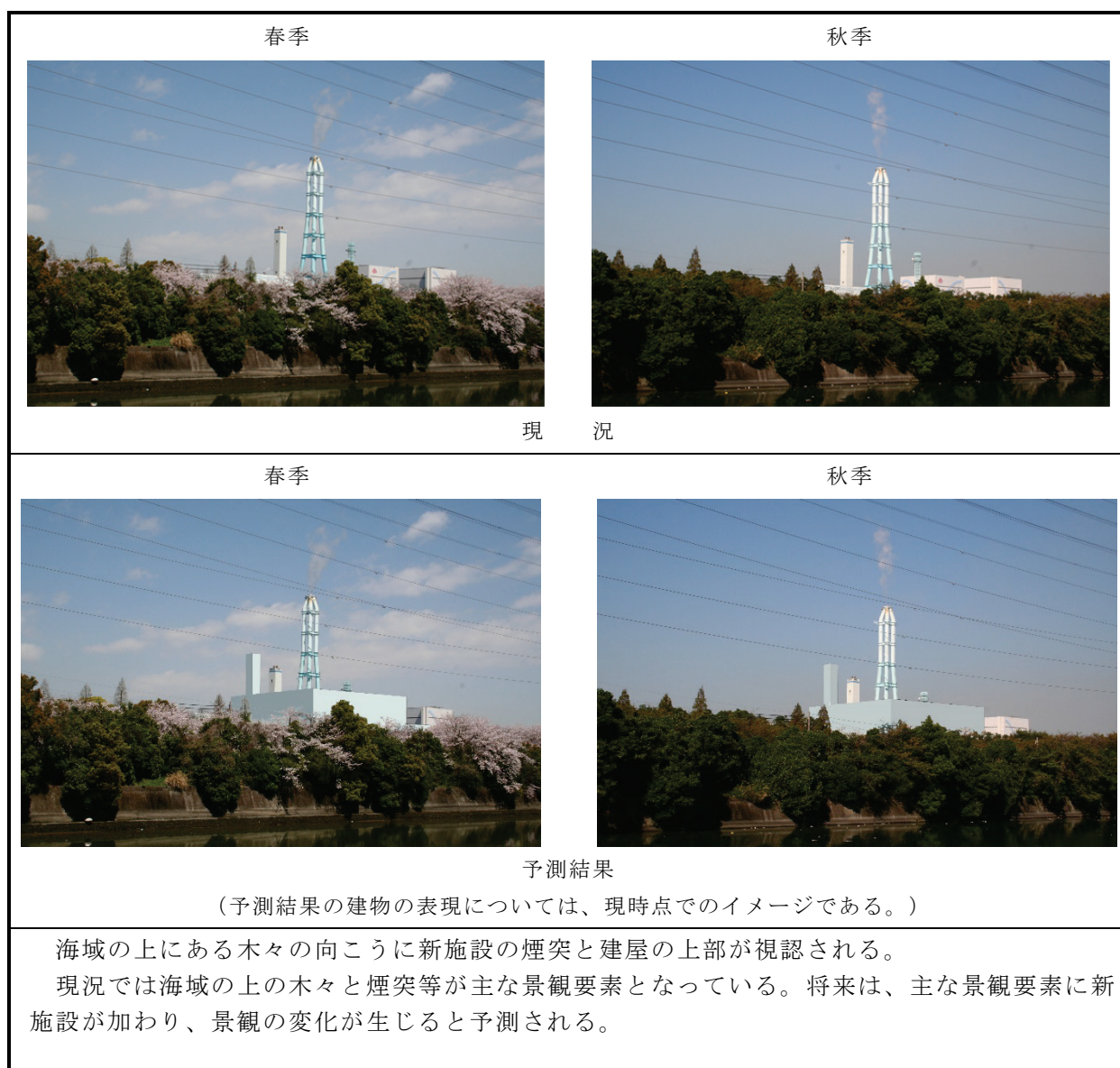


図 8.12.4 眺望景観予測結果（知多運動公園）

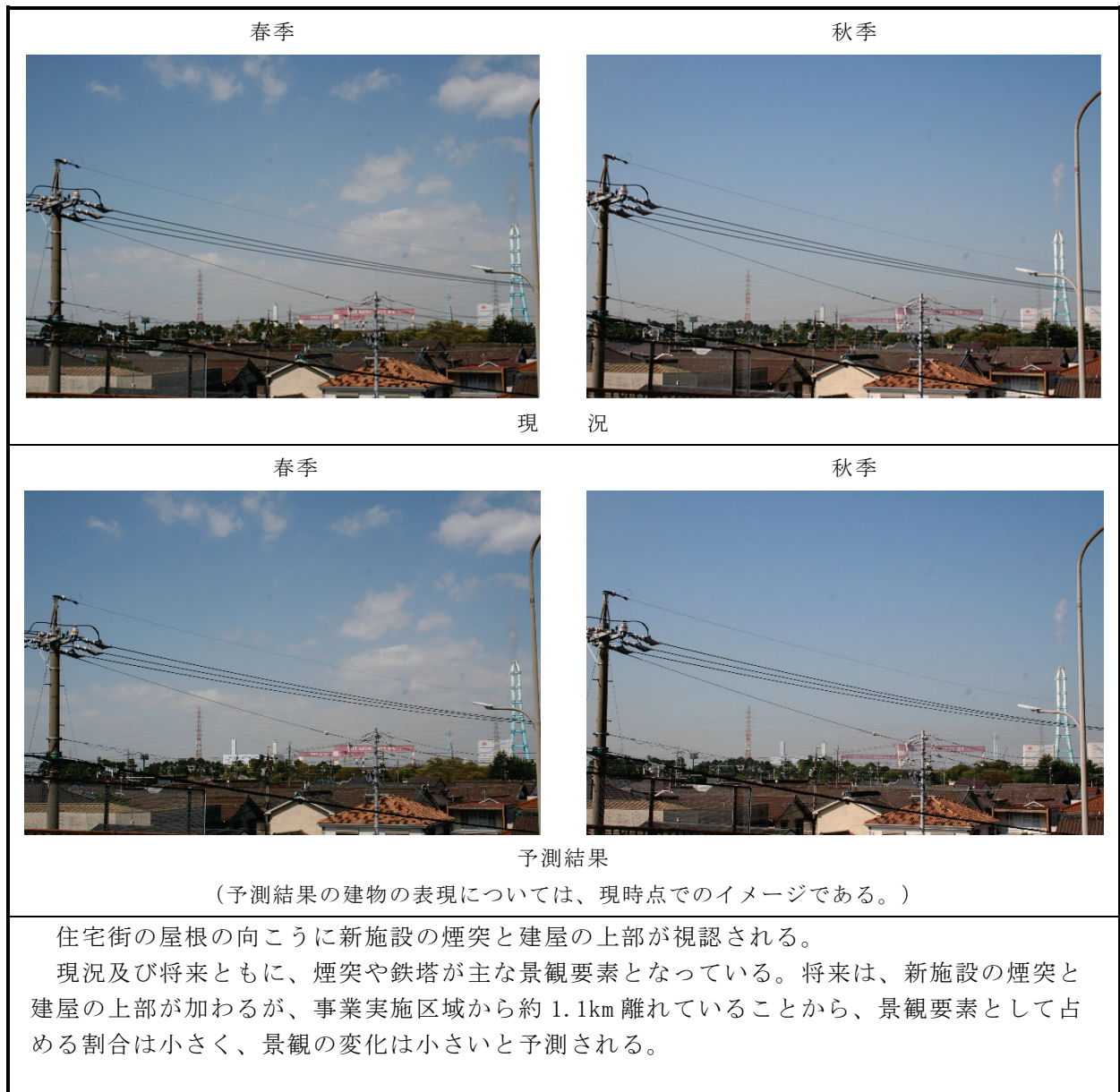


図 8.12.5 眺望景観予測結果（寺本跨線橋）

8 環境影響の調査、予測及び評価

8.12 景観（予測及び評価結果）

(イ) 環境保全措置

施設の存在による景観への環境影響を実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減するために実施する環境保全措置を、表 8.12.5 に示す。

表 8.12.5 環境保全措置

環境保全に関する措置	実施主体	効果及び措置による環境の変化	不確実性の程度	措置に伴い生ずるおそれのある影響
建物高さは、圧迫感を軽減するため、できる限り低くする。	事業者	景観への影響の低減が期待できる。	小さいと考える。	特になし。
建物の形状、色調等は、名古屋港カラー計画を考慮し、周辺環境との調和を図るように努める。	事業者	景観への影響の低減が期待できる。	小さいと考える。	特になし。

※名古屋港カラー計画

ロマンと活気にあふれた港づくりをめざして様々な機能や形態の建築物、工作物の配色に一定のルールを用いることにより、地区のイメージを好ましい状態にし、港のゾーニングを明確にすることを目的としている。

事業実施区域は活気ゾーンに含まれ、ベースカラー、アクセントカラーの配色により演出することになっている。



名古屋港カラー計画に沿って配色されている既存施設の外観

(ウ) 評価結果

a 環境影響の回避・低減に係る評価

(a) 景観資源への影響

事業実施区域周辺の景観資源については、いずれも周辺地域とともに遠景として眺めるような景観資源ではないこと、調査地点以外の主要な眺望点のうち、最も近い元浜公園でも事業実施区域から 2 km 程度と距離があり、影響はないと判断することから、景観に係る環境影響が、事業者の実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減が図られている。

(b) 主要な眺望点からの眺望

新施設の存在により、知多運動公園からの眺望景観に変化が生じると予測するが、建物外壁の色彩を名古屋港カラー計画に沿ったものとすることから、周辺環境との調和を図るよう努めていると判断する。

さらに、表 8.12.5 に示す環境保全措置を確実に実施することにより、景観に係る環境影響が、事業者の実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減が図られている。